

提 案 書 作 成 要 領

「東京逡信病院電子カルテシステム等の更改コンサルティング業務の委託」

日本郵政株式会社

東京逡信病院 医療情報管理課

本調達においては、総合評価落札方式による委託先の適切な選定を目的とし、次に規定する要領に従って作成した提案書の提出を求めるものである。

したがって、提案書は、仕様書に定める要求要件について、応札者自身が満足する能力を有していることを証明する内容を求めるものであり、その内容について評価を実施するものとする。

なお、提案書の作成に当たっては、次の事項に留意すること。

- ・ 提案内容が簡潔に記載すること。
- ・ 特段の専門的知識を要することなく提案内容を評価できるよう配慮すること。
- ・ 提案内容について、根拠又は参考となる資料を添付すること。

1 提案書の様式

(1) 日本語で記載すること。

(2) A4判縦の用紙に横書きとする。ただし、図表等を使用する場合は、必要に応じて適宜の方法で使い分けるものとする。その際、文字等が見づらくなならないように留意する。

(3) 見出し符号

ア 項目を細別するときは、次の項番順序による。

1 ○○○○

(1) ○○○○

ア ○○○○

(ア) ○○○○

A ○○○○

(A) ○○○○

a ○○○○

(a) ○○○○

注1：上記の項番で不足する場合には、適宜項番を設定し使用すること。

注2：イ、ロ、ハ・・・の順は用いない。

イ 図表には、上部に次のような番号及びタイトルを付与すること。

図△ ○○○○ / 表△ ○○○○

(4) 目次及びページ番号を付与すること。

(5) 提案書は、7部提出すること。

(6) ページ数は、総枚数50ページ以下（カタログ、パンフレット等を除く。）とする。

（提案書評価の簡便性の観点から、適宜、提案書のページ数等を制限する。）

2 提案項目

提案書の記述項目は次のとおりとし、記述項目名称は提案書における各章の見出しとして使用すること。提案に当たっては、仕様書に定める要求要件をすべて満たす内容とし、総合評価基準の各項目の評価観点を踏まえ、具体的かつ明確に記述すること。

記述に当たっては、記述項目ごとに、仕様書該当項目との対応及び総合評価基準に定める要求要件に記述されている各評価観点との対応を記入すること。

(1) 必須要件（仕様書に定める要求要件）

仕様書に定めるすべての要件に対して満足する具体的な提案がなされていることを確認できるように仕様書の項番号に対比させた形式で記載すること。

ア 相対評価項目

- (ア) 現状調査・分析手法
- (イ) コミュニケーション・調整能力
- (ウ) ユーザー要件調査・合意形成手法
- (エ) 病院 DX・ICT ツール活用提案
- (オ) データ活用・統計処理対応
- (カ) セキュリティ・IT-BCP 対応
- (キ) 業務継続性・移行計画
- (ク) 仕様書作成能力
- (ケ) コスト評価・交渉支援能力
- (コ) プロジェクト管理手法・計画
- (サ) 実施スケジュール・工程管理
- (シ) 成果物・報告書品質
- (ス) 業務実施体制・組織力
- (セ) 医療機関システム更改実績
- (ソ) 提案書の完成度・理解度
- (タ) 創意工夫・付加価値提案
- (チ) 人権尊重等に関する取り組み
- (ツ) その他

3 提案書等に関する照会先

日本郵政株式会社 東京逓信病院 医療情報管理課

担当 五十嵐 聡

TEL 03-5214-7750